介護福祉士資格取得後のキャリアアップ等の在り方に関する調査研究事業
施設対象アンケート

はじめに、貴施設・事業所の基本事項についてお聞きします。

Ｑ１	**貴施設・事業所の経営主体をお答えください。** （1つだけ選択） ○ 社会福祉法人 ○ 医療法人（財団・社団・特別・社会医療法人） ○ 都道府県・市区町村 ○ 財団法人（公益・一般） ○ 社団法人（公益・一般） ○ 学校法人 ○ 特定非営利活動法人（ＮＰＯ法人） ○ 営利法人（株式会社、有限会社、合名会社、合資会社、合同会社など） ○ その他（　　）
Ｑ２	**貴施設・事業所の開設年月をお答えください。** （数字を半角で入力） 西暦 [　　] 年 [　　] 月
Ｑ３	**貴施設・事業所を含む貴団体・法人等のすべての従業員数をお答えください。** （1つだけ選択） ○ 5人以下 ○ 10人以下 ○ 50人以下 ○ 100人以下 ○ 500人以下 ○ 1000人以下 ○ 1000人超
Ｑ４	**貴施設・事業所の種別をお答えください。** （1つだけ選択） ○ 介護老人福祉施設（地域密着型含む） ○ 介護老人保健施設 ○ 介護療養型医療施設、介護医療院 ○ 居宅介護支援事業所 ○ 訪問介護 ○ 訪問入浴介護 ○ 通所リハビリテーション（デイケア） ○ 通所介護（デイサービス） ○ 短期入所生活介護、短期入所療養介護（ショートステイ） ○ 特定施設入居者生活介護 ○ 夜間対応型訪問介護 ○ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） ○ 小規模多機能型居宅介護 ○ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ○ その他の高齢者関係（　　）

介護福祉士資格取得後のキャリアアップ等の在り方に関する調査研究事業
施設対象アンケート

人員体制についてお聞きします。

Q 5

2020年10月1日時点の貴施設・事業所の職種別職員数をお答えください。
複数の職種を兼務している方については、主たる役割の職種でカウントしてください。
（数字を半角で入力。該当者がいない場合は０を入力）

【ご注意ください】
- 施設長・ホーム長・所長も含みます。
- ここでいう職員には、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。
- 正規職員とは雇用している労働者のうち雇用期間の定めのない者を指します。
- 非正規雇用職員とは正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど）を指します。
- 常勤換算は、正規職員の週所定労働時間数（例：40時間）で、非正規雇用職員の週所定労働時間（例：24時間）を除して算出。24/40＝0.6人

本調査における「介護助手・介護補助の定義」をご確認ください。

本調査における 介護助手・介護補助の定義
「介護サービス施設・事業所もしくは介護サービス施設・事業所を運営する法人と雇用契約を結び、利用者の体に直接触れる介護業務でない、主に介護の周辺業務（清掃、ベッドのシーツ交換、配膳、食事の片づけ等） を担当することを目的とするなど、正規の介護職員と役割を分けて採用した職員」とします。ボランティアは含まないこととします 。

	正規職員			非正規雇用職員		
	実人数	常勤換算	うち介護福祉士の資格保有者	実人数	常勤換算	うち介護福祉士の資格保有者
介護職	人		人	人		人
うち医療的ケア従事者	人		人	人		人
介護助手・介護補助	人	人	人	人	人	人
看護職	人	人	人	人	人	人
リハビリ職	人	人	人	人	人	人
ケアマネジャー	人	人	人	人	人	人
相談員	人	人	人	人	人	人
指導員	人	人	人	人	人	人
その他職員	人	人	人	人	人	人

Q 6

2020年10月1日時点における貴施設・事業所の利用者数をお答えください。
利用者数総数と、要介護度別の利用者数をお答えください。
（数字を半角で入力。該当者がいない場合は０を入力）

利用者数（総数）		人
うち、	要支援1	人
	要支援2	人
	要介護1	人
	要介護2	人
	要介護3	人
	要介護4	人
	要介護5	人
	自立	人

介護福祉士資格取得後のキャリアアップ等の在り方に関する調査研究事業
施設対象アンケート

Ｑ７

2020年10月1日時点の介護福祉士の区分別人数（実人数）をお答えください。
複数の職種を兼務している方については、主たる役割の職種でカウントしてください。
（数字を半角で入力。該当者がいない場合は０を入力）

【ご注意ください】
- 施設長・ホーム長・所長も含みます。
- ここでいう職員には、派遣労働者、委託業務従事者は含みません。
- 正規職員とは雇用している労働者のうち雇用期間の定めのない者を指します。
- 非正規雇用職員とは正規職員以外の労働者（契約、嘱託、パートなど）を指します。

		介護福祉士	
		正規	非正規
職種・職位	経営者	人	人
	施設長、事務所管理者	人	人
	主任、介護部門の長	人	人
	介護支援専門員（ケアマネジャー）	人	人
	サービス提供責任者	人	人
	ユニットリーダー、サブリーダー（チームのまとめ役）	人	人
	訪問介護員（ホームヘルパー）、介護職員、生活支援員	人	人
	相談員	人	人
	指導員	人	人
	その他	人	人

		介護福祉士	
		正規	非正規
年代	20歳未満	人	人
	20歳代	人	人
	30歳代	人	人
	40歳代	人	人
	50歳代	人	人
	60歳代	人	人
	70歳以上	人	人

		介護福祉士	
		正規	非正規
勤続年数	1年未満	人	人
	1～3年未満	人	人
	3～5年未満	人	人
	5～10年未満	人	人
	10年以上	人	人

介護福祉士資格取得後のキャリアアップ等の在り方に関する調査研究事業 施設対象アンケート	
	介護福祉士に対する処遇についてお聞きします。
Q 8	**貴施設・事業所では、介護福祉士に資格手当を付与していますか。** （1つだけ選択） ○ はい ○ いいえ
Q 9	**介護福祉士に付与している資格手当の金額をお答えください。** **資格手当以外の手当額は含めず、あくまで資格手当の金額をお答えください。** （1つだけ選択） ○ 1,000円未満 ○ 1,000～5,000円未満 ○ 5,000～10,000円未満 ○ 10,000～15,000円未満 ○ 15,000～20,000円未満 ○ 20,000～30,000円未満 ○ 30,000円以上
Q 10	**貴施設・事業所では、特定処遇改善加算に基づいて、介護福祉士の処遇改善を実施していますか。** （1つだけ選択） ○ はい ○ いいえ
Q 11	**賃金テーブルについてお聞きします。資格を保有している介護福祉士に適用する賃金テーブルは、** **資格を保有していない介護職に適用する賃金テーブルと同一ですか、異なりますか？** （1つだけ選択） ○ 同一 ○ 異なる
Q 12	**貴施設・事業所では、介護福祉士の資格を保有していない介護職に対して** **介護福祉士の資格取得を推奨していますか。** ※現在、該当する職員がいない場合は、該当する職員がいる場合を想定してお答えください。 （1つだけ選択） ○ 施設・事業所として資格取得を推奨している ○ 推奨することもある（施設・事業所としての方針はない） ○ 特に推奨していない
Q 13	**貴施設・事業所では、今後医療的ケアに従事できる介護福祉士を増やしたいと考えていますか。** （1つだけ選択） ○ 増やしたい ○ 増やしたいと思わない ○ どちらとも言えない

介護福祉士資格取得後のキャリアアップ等の在り方に関する調査研究事業
施設対象アンケート

介護福祉士の業務・介護福祉士に対する期待についてお聞きします。

Q 14

貴施設・事業所では、介護福祉士資格を保有する介護職と、保有していない介護職とで、業務内容を区別していますか？
※ここでいう「資格」とは、国家資格としての介護福祉士の資格を指します。
研修等によって付与される各種の資格は含まれません。
（1つだけ選択）

○ 区別している
○ ある程度区別しているが、曖昧な業務もある
○ 区別していない

Q 15

貴施設・事業所において、介護職員で構成されるチームを編成する場合、そのチームのリーダー（長・責任者）はどのような条件で決めていますか。
（1つだけ選択）

○ 介護福祉士をリーダーにするようにしている
○ 介護福祉士を優先してリーダーにするようにしているが、資格を有していない介護職をリーダーにすることもある
○ 介護福祉士の資格を有しているかどうかを考慮せず、リーダーを決めている
○ 介護職員で構成されるチームを編成する場面がない

Q 16

貴施設・事業所における、介護福祉士への期待についてお聞きします。

貴施設・事業所で「現場での実務経験がなく、養成施設を卒業して間もない介護福祉士」を採用した場合を想定してください。

その介護福祉士が、以下の項目を適切に実践できることについて、「実務経験〇年目程度で期待したい」といった目安をお答えください。

なお、これらの項目は「求められる介護福祉士像」として提唱されている項目です。
（それぞれ1つだけ選択）

「求められる介護福祉士像」とは

介護現場の中核を担う介護福祉士に求められる機能や必要な能力等を11項目に整理したものです。本調査では「求められる介護福祉士像」の11項目のうち、10項目についてお伺いします。残りの一つは「高い倫理性の保持」です。高い倫理性の保持は10項目を実践していく上で、前提として位置付けられています。

出所：社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会報告書「介護人材に求められる機能の明確化とキャリアパスの実現に向けて」（平成29年）

	介護福祉士としての実務経験1年目程度で期待したい	介護福祉士としての実務経験3年目程度で期待したい	介護福祉士としての実務経験5年目程度で期待したい	左記より多くの経験年数を有する介護福祉士に期待したい	施設・事業所の業務内容上、期待する場面がほぼない
尊厳と自立を支えるケアを実践する	1	2	3	4	5
専門職として自律的に介護過程の展開ができる	1	2	3	4	5
身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる	1	2	3	4	5
介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる	1	2	3	4	5
QOL（生活の質）の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる	1	2	3	4	5
地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる	1	2	3	4	5
関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する	1	2	3	4	5
本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる	1	2	3	4	5
制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる	1	2	3	4	5
介護職の中で中核的な役割を担う	1	2	3	4	5

Q 17

貴施設・事業所における介護福祉士の「マネジメント・リーダーとしての役割」への期待についてお聞きします。

貴施設・事業所で「現場での実務経験がなく、養成施設を卒業して間もない介護福祉士」を採用した場合を想定してください。

その介護福祉士が、以下の項目を適切に実践できることについて、「実務経験〇年目程度で期待したい」といった目安をお答えください。
（それぞれ1つだけ選択）

		介護福祉士としての実務経験1年目程度で期待したい	介護福祉士としての実務経験3年目程度で期待したい	介護福祉士としての実務経験5年目程度で期待したい	左記より多くの経験年数を有する介護福祉士に期待したい	施設・事業所の業務内容上、期待する場面がほぼない
指導・教育	業務をとおして、チームメンバーへの技術指導・助言等を行う	1	2	3	4	5
	チームメンバーと面談の機会を持ち、目標、強み・弱み、悩み等を共有して必要な助言等を行う	1	2	3	4	5
	施設・事業所内研修で講師役を担い、自分の知識・技術の共有を図る	1	2	3	4	5
	実習生の指導を行う	1	2	3	4	5
チーム マネジメント	チームの課題を把握し、改善のために取り組んでいる。	1	2	3	4	5
	業務改善の取り組みを行っている。	1	2	3	4	5
	チームでサービス計画（介護計画）にそった介護実践が行われるよう取り組んでいる。	1	2	3	4	5
	チームメンバー個々の力量を把握して、業務にふりわけている。	1	2	3	4	5
サービス計画 (介護計画)	サービス計画（介護計画）のアセスメントを行う	1	2	3	4	5
	サービス計画（介護計画）のモニタリングを行う	1	2	3	4	5
	サービス計画（介護計画）の評価修正を行う	1	2	3	4	5
その他	率先して研修等に参加し、リーダーとしての成長を図る	1	2	3	4	5
	ケアカンファレンス等で他職種と円滑に情報共有・意見交換を行う	1	2	3	4	5
	会議では自分の意見を述べ、スタッフの意見を引き出す	1	2	3	4	5
	委員会やプロジェクトチームのリーダーを担う	1	2	3	4	5
	介護に関する地域貢献活動（ボランティア、講演・研修、相談対応等）に取り組んでいる	1	2	3	4	5
	家族への相談助言を行う	1	2	3	4	5
	サービス担当者会議に出席している	1	2	3	4	5
	地域ケア会議に出席している	1	2	3	4	5

介護福祉士資格取得後のキャリアアップ等の在り方に関する調査研究事業
施設対象アンケート

介護福祉士に対する教育・研修、およびWLB（ワーク・ライフ・バランス）改善に向けた取り組みについてお聞きします。

Q 18 **貴施設・事業所における、介護福祉士の教育・育成のための取り組み状況をお答えください。**
（あてはまるものをすべて選択）

	取り組んでいる	取り組みを検討中・検討予定	取り組みを検討する予定はない	該当者がいない
教育・研修計画の策定	1	2	3	4
教育・研修担当または担当部署の明確化	1	2	3	4
施設内研修の充実（内容・頻度）	1	2	3	4
外部研修への参加支援：参加費補助	1	2	3	4
外部研修への参加支援：業務との時間調整等	1	2	3	4
能力開発のための休職・休暇制度	1	2	3	4
有資格者のキャリアアップの道筋提示	1	2	3	4
有資格者がキャリアアップするための制度・仕組みの構築	1	2	3	4
キャリアラダーの作成・周知	1	2	3	4
キャリアカウンセリングの窓口の設置	1	2	3	4
資格・経験を考慮した給与体系の構築	1	2	3	4
人事考課の実施・評価基準の明確化	1	2	3	4

Q 19 **貴施設・事業所におけるWLB（ワーク・ライフ・バランス）改善のための取り組み状況についてお答えください。**
（それぞれについて1つだけ選択）

	取り組んでいる	取り組みを検討中・検討予定	取り組みを検討する予定はない	該当者がいない
時間外労働時間の削減に取り組んでいる	1	2	3	4
年次有給休暇をはじめとする休暇の取得を促進している	1	2	3	4
育児・介護休業法の定めよりも充実した育児・介護との両立支援策を導入している	1	2	3	4
子育て・介護等を行っている職員が雇用形態や勤務形態を選択可能な制度を整備している	1	2	3	4
子育て・介護等を行っている職員以外にも、多様な勤務形態を用意している	1	2	3	4
施設・事業所内で保育所等を設け、職場保育環境のしくみを用意している	1	2	3	4
ハラスメントを受けた際の相談窓口や、職員をサポートする体制がある	1	2	3	4
職員のWLBの促進や、WLBを阻む職場慣行の見直し等のために、施設・事業所内にプロジェクト・チームを設けるなど推進体制をつくっている	1	2	3	4
施設・事業所内アンケートやヒアリング等により、WLB支援に関する職員の意見・要望を取り上げ、改善を図っている	1	2	3	4